

## 第7回 IDEHA雪崩事故防止講習会(クラス1)

今回で7回目を迎えるIDEHA雪崩事故防止講習会。

今回クラス3の講師を務める大江先生が、日本南極地域観測隊で医療隊員として活動した貴重な体験をスライドでの美しい画像と合わせお話しをして頂きます。

もちろん雪崩の基本講座として、雪氷防災研究センターの小杉所長、全国雪崩講師の鈴木氏の濃厚な座学講習は、各講師陣が自分で経験したことをそのまま伝える生きた情報で、これから冬山に入られる方から、エキスパートまでしっかり伝わる内容です。

自分の身を守るため、仲間を守るため、皆様の講習会への参加をお待ちしております。

開催日 11月4日(日)

開催時間 AM10:00~PM17:00

講習会場 山形テルサ2階リハーサル室 ※山形駅西口すぐ

参加対象 雪山を愛する皆様

定員 50名(※定員になり次第締め切らせて頂きます。)

講習料金 4,000円

準備品 筆記用具、昼食(お弁当持参・外食可)

お申込み IDEHAホームページ申込みフォーム・メール・FAX等でお申し込み下さい。

〆切 10月31日(水)

### 講習内容&タイムスケジュール

受付 AM9:30~9:50(テルサ2階リハーサル室にて)

#### ①「積雪に関する一般知識・雪崩と気象との関連」 AM10:00~12:00

降雪の仕組み・雪崩の基礎知識を分かりやすく説明します。

雪崩を知るにはどのように雪が出来て、どんな雪が雪崩を引き起こすのかを知る必要があります。今回気象の講習と組み合わせることで、より降雪の仕組みが分かる内容になっています。

2018年12月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。

雪氷防災研究センター 新庄支所 所長 小杉 健二博士

#### ②「雪山リスクマネジメント」 PM13:00~15:00

雪山では雪崩だけを注意すればよいものではありません。低体温症や凍傷など通常のツアーでも起こりうるであろう事故は多々あります。影に潜む危険性と対処法を予備知識として頭に入れておきましょう。知っていると知らないとでは生死に関わることも。目から鱗の講習会です。

2018年12月の実技講習を受講される方は、この講座を受講することが条件となります。

日本勤労者山岳連盟雪崩テキスト編集委員・全国雪崩講師 鈴木 孝氏

#### ③「山医者の南極越冬記」 PM15:10~16:40

IDEHA雪崩事故防止講習会のクラス3(救急・救助)にて講師を務めて頂いている大江先生が、第54次・58次日本南極地域観測隊の医療隊員として南極で活動して参りました。その活動の様子をスライドでの美しい画像と合わせてお話しして頂きます。南極の雪に関する疑問や、南極基地での医療活動事情などの貴重な話が聞ける特別講習です。

第54次・58次日本南極地域観測隊 医療隊員 大江洋文氏

※ 昨年受講された方は基礎講座免除で実技を受講することが出来ますが、受講することをお勧めします。

※ 山形テルサ 〒990-0828山形市双葉町1丁目2-3 TEL023-646-6677

※ 雪崩講習時昼食を12:00~13:00の間で昼食を挟みます。

※ 駐車場は隣接して山形駅西花笠パーキングがあります。各自でのお支払いになります。

お申込み・お問合せ IDEHA 担当:石沢

URL: <http://www.ideha.jp> E-mail: [ideha@khaki.plala.or.jp](mailto:ideha@khaki.plala.or.jp) TEL:090-7067-0667